

# 不確実な時代における スロー・ペダゴジー 文化との関係

シンポジウムテーマ

## 乳幼児期の「時間」を問い直す

2022年に出版されたご著書 "Slow knowledge and the unhurried child: time for slow pedagogies in early childhood education" の日本語訳版が近日刊行されるのを記念し、乳幼児教育・保育から高等教育に至るまでの課題とスロー・ペダゴジーとの関係、また近年取り組まれている「スロー・リサーチ」についてご講演いただきます。

その後、国、地域、学校、園などの文脈における文化とスロー・ペダゴジーとの関係について考えます。

参加無料

07.04(土)

14:00~17:00

オンライン・対面開催

### レクチャー

#### アリソン・クラーク

サウス・イースタン・ノルウェー大学 教授/UCL教育研究所 名誉上級研究員

「スロー・ペダゴジー (slow pedagogy)」「スロー・ナレッジ (slow knowledge)」の価値について考えている



### 司会

野澤 祥子 (東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター 特任教授)

### 開会挨拶

浅井 幸子 (東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター センター長)

### 指定討論者

- 森 眞理 (神戸親和大学 教授)
- 佐藤 寛子 (お茶の水女子大学附属幼稚園)
- 嶋原 卓 (郡山市立明健小学校)
- 秋田 喜代美 (学習院大学教授・東京大学名誉教授)

### 詳細

#### 事前申し込み制

場所 東京大学 伊藤謝恩ホール

時間 14:00~17:00 (開場13:30)

オンライン視聴も可能

※ 通訳あり



お申込み  
お問合せ

右のWEBフォームから事前にお申し込みください

【共催】東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター・J-Hoiku

